



P T A だより

令和3年度

5月号

愛媛県立宇和島東高等学校

《5月の行事予定》

1	土	
2	日	
3	月	(憲法記念日)
4	火	(みどりの日)
5	水	(こどもの日)
6	木	
7	金	全校集会(表彰伝達) クレペリン検査(3年商 6限)
8	土	全統高2模試(2年1~4組) スタディーサポート(1年1~4組、7組) 全統記述模試(3年1~4組)
9	日	全統記述模試(3年1~4組)
10	月	
11	火	中間考査発表 尿検査予備日①
12	水	尿検査予備日②
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	中間考査
19	水	↓
20	木	↓
21	金	1年集団行動 交通安全街頭指導(3年商) 実用英語検定①一次試験
22	土	
23	日	
24	月	人権の日
25	火	防災退避訓練
26	水	
27	木	眼科検診 漢字テスト②
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	教育実習開始(~6/18)

《研修図書課より》

「他人を満足させることより、自分の本当にやりたいことに軸を置いた思考こそが現代にふさわしい。」名だたる企業、団体が支援を求めて集まる戦略デザインファーム BIOTOPE 代表の佐宗邦威(さそう くにたけ)氏の考え方です。

変動が激しく、不確実、複雑、曖昧な現在の世界。変化に合わせてその度に自分を変えなければならない「他人モード」の閉塞感は、創造性や幸福感までも鈍らせます。目の前の課題に対し改善を積み上げて解決するやり方には限界があり、今求められるのは、直感を信じ「妄想」(＝まだ目に見えない理想状態)を現実にしていく思考だということです。

これは簡単ではありません。工作中、私たちは他人がどう思うかを真っ先に考えます。SNS上で「いいね!」を求めたり、ネット上で個人向けにカスタマイズされた情報に触れたりするのも、他人に支配されることです。対処法は、日常生活の中に自分と向き合う「余白」を作ること。具体的なやり方に興味のある方は、佐宗氏の著作『直感と論理をつなぐ思考法』(ダイヤモンド社)を読んでみてください。発想を豊かにする質の高い知識・経験の引き出しを作るには、脳からすれば読書も実体験と同程度に有効だそうです。

内発的であり、ずっと変わらず自分を鼓舞し続けられる、そんな「妄想」を持つことができたなら――。純粹に頑張れそうな気がします。

【今回は SSH 推進課 です】

《学校行事報告》

1. 新入生オリエンテーション（4/12）



各課教員からの説明の様子



新入生の様子

2. SHR交流会（4/15）



先輩からのアドバイス



先輩の言葉に耳を傾ける1年生

3. SSHの活動



2年生（RSⅠ）の研究内容発表



ブレインライティングの様子



3年生（RSⅡ）の研究内容発表



テーマ決めの様子

【宇和島東高校の出来事を載せています】

宇和島東高校ホームページ … <https://uwajimahigashi-h.esnet.ed.jp>



QRコードはこちら